

大宮東地区

くらやしきいなり 蔵屋敷稲荷

大宮町にある蔵屋敷稲荷は、大宮城の蔵屋敷※1にあった稲荷神社※2とされています。

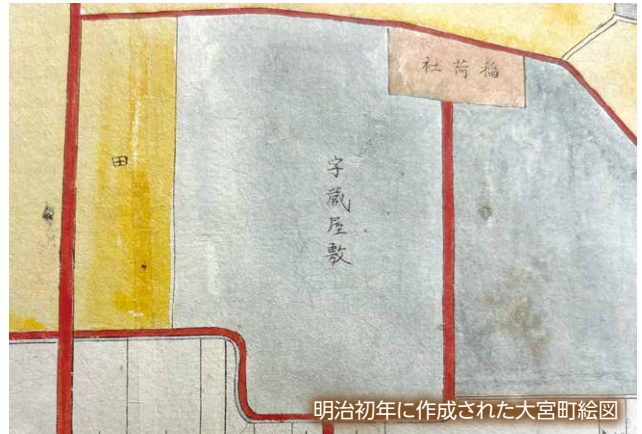
江戸時代の記録には、人々が蔵屋敷稲荷に参拝していた様子や、社殿が再建されたことのほか、病気の治癒を祈り題目※3を唱えていたことが記されており、当時から神仏習合※4の時代であったことがわかります。

蔵屋敷稲荷では、稲荷神社の縁日とされる初午祭※5などの祭礼が、江戸時代から現在まで続いています。

江戸時代には、初午祭の際に、こどもが稲荷神社へ白、青、赤の幟を捧げていましたが、現在では、3月上旬に五色の幟が境内に立ち並びます。

この時期は、市内にある他の稲荷神社でも幟の立つ場所が多くあります。

- ※1 穀物などを保管していた倉庫
- ※2 穀物や食物を司る宇迦之御魂神を祭神とし、京都市にある伏見稲荷大社が総本宮とされる
- ※3 南無妙法蓮華経を唱えること
- ※4 江戸時代以前の神と仏を同一視する思想
- ※5 2月の最初の午の日に五穀豊穡などを祈る行事



明治初年に作成された大宮町絵図



蔵屋敷稲荷の境内



初午祭に立ち並ぶ幟(現在は3月上旬に行われている)

歩く博物館 H東コース<大宮東地区> 旧大宮町東地区をめぐるコース

市役所6階文化課、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187
✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

